

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ユニシア		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	平日・土日に限らず、毎日異なる集団活動を取り組んでいる	全職員でイベント案を出し、様々なジャンルのイベントに取り組んでいる。 SNSや研修資料を活用し、常に新しい活動に取り組んでいる。 専門職員のアドバイスを取り入れ、手先や運動イベントに偏りが出ないように活動に取り組んでいる。	5領域を含めてねらいを明確にする。 子どもたちの要望を取り入れ、満足度の高い活動を提供する。 イベント振り返りを毎週行い、精度の高いイベント内容にしている。
2	子どもに合った学習プリントを用意し、学習に取り組んでいる	作業療法士による視点で、点描写やひらがななど発達レベルに応じて学習に取り組んでいる。 学習スペースと遊ぶスペースを分けている。 学習の進捗状況を職員間や保護者に共有しながら、進めている。	進学に向けて、学習内容やプリント枚数を見直していく。 それぞれの子どもの進捗状況に合わせて明確な目標設定を行う。
3	子どもの気持ちが崩れたときに職員同士で連携を取って対応できている	連絡ツールを使用し、職員間で子どもの共有を行っている。 職員同士の動きや配置を意識している。	気持ちが崩れたときの対応方法を職員間で共有して統一する。 それぞれの子どもに関して、毎日の朝礼と毎週末の会議で振り返りを行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	おもちゃの更新頻度が低い	カードゲームを増やしたが、飽きるのが早く、日常的に遊んでいるおもちゃに戻ってしまった。 既にあるおもちゃを買い足してほしいという要望がよくあるため、同じおもちゃの数は増やしているが、新しいおもちゃを買い頻度は低い。	職員がカードゲームのルールを覚えて、子どもたちと取り組む回数を増やす。 新しい遊び方を提案し、楽しみ方を増やす。 カードゲームなど使用頻度が低いおもちゃを平日の集団活動に取り入れる。
2	トイレの場所が2階にある ボールを使った活動が十分にできる広さがない	建物の構造上、1階にあるプレイルームと2階にあるトイレが離れており、プレイルームが1部屋しかないため、仮設トイレを作ることも不可能。 1つのプレイルームで遊びや学習などに取り組んでいるため、広いスペースを必要とする活動を行うことが難しい。	トイレまで職員が見守りでついていく。 防犯カメラを活用して子どもの様子を把握する。 ラケットやボールを使用する広いスペースが必要な活動をする際は、施設周辺の公園で行う。
3	プレイルームが一つのため、 学習場所と遊ぶ場所が一緒になっている	事業所内にプレイルームと小部屋の2部屋はあるが、小部屋は個別療育で使用しているため、平日は学習場所として確保することが難しい。	パーティションやイヤーマフを使用する。 学習と遊びを同時に行う時のルールを作って、子どもたちに周知するなど、遊んでいる子どもが勉強をしている子どもに対して配慮ができるような環境設定をする。

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	ユニシア					公表日	2026年 3月 1日			
						利用児童数	17	回収数	14	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1	0	2	人数によっては狭いかもかもしれません。	平日はお勉強とそれ以外の活動スペースを分け、運動遊びでは、個別部屋の活用や公園に行き活動しています。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	0	0	3	いつもたくさんいらっしゃるイメージなのでいいと思います。	配置基準を満たすように勤務日程を組んでいます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	3	0	2	おもちゃの箱にも写真が付いていたり、見てわかりやすいと思います。	視覚的な支援も行い、円滑なコミュニケーションが取りやすいようにしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	0	1	何度か行っていますが、きれいにされていると思います。	毎日の掃除に加え、週末には細かな掃除も行っております。		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	0	1	0	お話しが苦手なので、そこだけもう少し支援していただきたいです。	週末には、SST要素を取り入れたイベントを行っております。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1	0	2				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	0	親のニーズをかなり取り入れていただいていると思います。	保護者様のニーズに加え、本児の活動の様子を踏まえて、支援計画を作成しております。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	1				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	1	されていると思います。	支援計画を確認する時間を毎日設けており、職員一同が意識して支援を行っております。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	0	0	2	ミニイベントがいつもバラバラなので、工夫されていると思います。	SNSや研修で学んだことの中から、日替わりで療育をしています。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	0	12				
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	1	1	分からないことがあっても細かく説明していただきました。	モニタリングの際には、支援計画を用いて、説明をさせていただいております。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	4	0	5	保護者への勉強会等を開いてもらうなど検討していただきたいです。	保護者参加型イベントで、療育内容の共有を行っています。希望者が多ければ、検討していきたいと思います。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	13	1	0	0	毎回色々話をさせていただいております。	送迎時には、その日の集団活動の様子に加えて、日々の成長が感じられたところの共有をしております。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	2	1	面談については半年ごと、助言についてはその都度していただいております。	モニタリングで半年間の成長についてのお伝えしております。保護者様からの相談があれば、職員間で共有し日々の支援に取り込んでいます。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1	0	0	していただいていると思います。	相談内容を職員間で共有し、日々の支援に取り込んでいます。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	2	7	ないのかな？と思います。保護者会等の交流があればぜひ参加してみたいです。	年に2度の保護者イベントを開催しておりますが、より兄弟や保護者様同士の交流の機会を設けられるように努めてまいります。		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	0	2	小さい事ですが、相談した際にすぐに対応していただいております。	相談内容を職員間で共有し、迅速に対応できるように心掛けています。			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	5		年に2度の避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	3		HP上に安全計画の公表をしておりますが、より保護者様に認知いただけるように努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	0	0	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	0	0	0	いつもルンルンで行っています。	ありがとうございます。今後も楽しく通所してもらえるよう支援してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1	0	0	言語の支援があると嬉しいです。	週末には、SST要素を取り入れたイベントを行っております。

公表	児童発達支援事業所における自己評価結果
----	---------------------

事業所名	ユニシア			公表日	2026年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	3	利用者が多い日には、怪我をしないように遊び方を変えている。	プレイルームが狭い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2		トイレが2階にある。 視覚資料などを活用しているが構造上情報伝達が難しい場面がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2		完全に仕切られた個室はない。 プレイルーム以外にもスペースはあるが人数が多い時には使うことができないことがある。 プレイルームを仕切りなどで区切ることで個別の空間を作ることはできると考えられる。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	週末の会議において情報共有やイベントの振り返りなどを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎週末に終礼を行い、職員が感じた事を言いやすいようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0		研修を受講する機会はあるが業務のひっ迫により、いくつも受けられない状況である。 職員同士で業務の適切な役割分担をしていけば受講機会が増えると思う。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	支援計画を作成する時には、職員が集まってお互いに見てきたことや支援したことを話し合ってから作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	目標を確認する時間を作っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	毎日異なる活動やイベントを行っている。 日替わりで子どもたちが楽しめるものになっている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	イベント時はしっかり行っている。平日はその場でスタッフが判断して動いている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	打ち合わせは行っていないが、振り返りや共有は行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	半年に1度は必ずモニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	3		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	5		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	6		把握できていない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	7		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5	年に2度は必ず親子で参加できるイベントを開催している。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		子どもよりも保護者の意思やニーズを優先になりがちなきがある。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	店舗LINEや送迎時など相談しやすいような環境作りを行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	5		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	食物アレルギーがある児童には、おやつを提供する際により注意して配膳している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0			